

県政だより

あきた 新時代

11 2003
月号

平成15年11月1日発行(第98号)
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課
〒010-8570
秋田市山王四丁目1番1号
☎018(860)1073
FAX 018(860)1072
sinjidai@pref.akita.jp

加速する改革への動き ～ 県境を越えた広域連携と地域の自立～

9月補正予算のあらまし



お父さんと一緒に掘ったよ！

山内村で行なわれた「アクティブパパ交流事業」
日ごろ、子どもたちと触れ合う時間が少ないお父さんたちに、
もっと子育てに参加してもらおうと、県生涯学習センターが企
画したものです。

この日は、親子で山内村名産の「いものこ(里いも)」掘りを体
験。慣れない作業に悪戦苦闘しながらも、お父さんたちは、子
どもたちと過ごす休日を目いっぱい楽しんでいました。

加速する改革への動き

— 県境を越えた広域連携と地域の自立 —

県や市町村など、地方自治体を取り巻く環境は大きく変わってきています。

各自治体の財政状況が厳しくなる中で、より効率的で機能的な組織に向けて大胆に改革を進めるとともに、行政として、さらには地域として自立することが強く求められているのです。

今回は、北海道で開催された北海道・北東北知事サミットの内容や先ごろ行われたフォーラムでの寺田知事の発言などを紹介しながら、広域連携と地域の自立について一緒に考えていきたいと思ひます。

Part1 北海道・北東北の連携は新たな段階へ 第7回知事サミットから



会場となった札幌市の象徴「時計台」

県境を越えた広域的な連携の中で地域の自立を目指そうと、平成9年から行われている知事サミット。

今回は、初めて津軽海峡を越えて札幌市で開催され、寺田知事、増田寛也・岩手県知事のほか、高橋はるみ・北海道知事と三村申吾・青森県知事を新しいメンバーに迎えて、文化交流を始め、北海道・北東北3県の新たな連携などについて活発な議論が展開されました。

今回のサミットでどんなことが決まったの？

1 縄文文化の回廊づくり

北東北と北海道南部には縄文遺跡が多数存在していることから、その昔、この地域で津軽海峡を越えた活発な交流があったと考えられます。

こうした文化遺産を体験学習や観光の資源として見直すとともに、それぞれの遺跡を線で結び「北の縄文文化回廊」として、その魅力を内外にアピールします。

また、共同で歴史資料の展示会なども開催します。

2 北の食文化の発信

この地域は、国内でもトップクラスの食料供給地域であり、四季折々の特色ある味覚を楽しむことができる「食の宝庫」です。そこで、スローフード運動などにより地域に根ざした豊かな食文化を次代に引き継ぐとともに、安全・安心な食料の供給に努めます。

このほか、道州制の研究を含め広域連携に向けた検討組織の設置など、連携強化に向けて大きく踏み出すことについても合意しました。



文化交流をテーマにした4道県知事フォーラム

知事サミットの開会
(左から高橋・北海道知事、三村・青森県知事、増田・岩手県知事、寺田知事)



広域連携としてこれまでやってきたことは？

知事サミットの合意を受けて、観光や環境対策、健康づくりなど、数多くの業務を一緒に進めています。

合同の県外(海外)事務所の開設

北海道、名古屋、大阪、福岡(以上3県合同)、ソウル(4道県合同)の各事務所に加えて、この9月にはシンガポール事務所(4道県合同)を開設しています。

環境対策の推進

北東北3県による産業廃棄物税条例を来年1月から施行、産業廃棄物の不法投棄の合同監視などを行っています。

「北のくに健康づくり推進会議」の設置

インターネットによる観光情報等の共同発信 など

寺田知事の発言から

人が少ないなど、「ない」ということが逆にこれからは地域発展の潜在力になります。

動物も、狭いところに閉じこめるとすごいストレスを感じるようですが、これからは集中よりも分散の時代。ITによるネットワークで世界中が瞬時につながっていることを考えれば、広々とした環境の良いところで個性的な生き方を求めるほうが健康にもいいし、いい仕事もできます。

その意味で、北海道と北東北は最も可能性を秘めた地域。この可能性を花開かせる中で、地域が一人立ちできるような取り組みを一緒になって進めたいと思ひます。

各県知事が大胆な改革を提言

Part2 地方分権の推進と地域の自立 JABAS2003知事フォーラムから

寺田知事は、8月30日に岩手県内で行われたフォーラムに参加し、地域の自立と行政のあり方などをめぐって、増田寛也・岩手県知事、片山善博・鳥取県知事との間で熱のこもった議論を展開しました。

寺田知事の発言から

【改革は地方主導で】

日本の経済は、デフレの進行で不況が長期化しています。国が従来型システムからなかなか脱却できないこともあって、国と地方の借金が700兆円にも達するなど、深刻な事態になってしまいました。

また、面積で国土の3.5%しかない首都圏

に、人口の4分の1以上が集中しています。大企業やお金、情報、そして行政機能などあらゆる機能も集中しており、こうした一極集中が日本の発展に大きな障害になっています。

こうした中で、国が変わるのをいつまでも待つのではなく、地方が自ら変わっていくことが大切であり、国からの自立なしには地域が生き残れない時代になっているのです。

【道州制の検討は行政の責任】

秋田県は、この5年間に県の職員を7.5%(約360人)削減するなど、徹底した行政改革に取り組んでおり、人件費などの割合は全国でも2番目に低くなっています。

ただ、これから市町村合併が加速し、国の「三位一体の改革」^(注)などによって地方分権が進んできたときに、県だけが今までどおりというわがままは通用しません。



地方からの改革を強調する寺田知事

北東北3県は、道州制への移行を含めた広域連携について検討を始めていますが、なにもしないで将来に大きなツケを残すことがないように、さまざまな課題をいち早く検討し、内容を県民に提供していくことは、行政を担当する私たちの責任だと考えています。

(注)三位一体の改革：国庫補助金等の削減、地方交付税制度の見直し、国から地方への税源移譲を一体的に進め、地方自治体の権限を強化しようとするもの

増田、片山両知事の発言から

「市町村合併では、合併特例債など目先のメリットを追うだけではなく、志を大きく持って、地域のグランドデザインをどうするかということを十分に議論することが重要です。」(増田知事)

「これからの行財政改革の中で、合併によって量の拡大を図るだけでなく、質の改善について真剣に考える必要があります。」(片山知事)

また、3県知事は、地域が自立をめざすうえで人材育成が重要であることを強調しました。その中で寺田知事は、来年4月に開学予定の国際教養大学にふれ、この大学は実践的なビジネス教育や日米両方の大学卒業資格の取得など、全国的にもあまり例のない大学になることを紹介しました。



増田寛也・岩手県知事
昭和26年生まれ、52年建設省(現国土交通省)入省、平成7年岩手県知事、現在3期目



片山善博・鳥取県知事
昭和26年生まれ、49年自治省(現総務省)入省、平成11年鳥取県知事、現在2期目

これからのキーワードは『地域の自立』

このフォーラムでは、国の仕組みが地域の自立を阻害してきたことを踏まえ、これからは地方が主体的に改革に取り組み、真の自立をめざすことを確認しあいました。

お問い合わせ 県総合政策課 TEL018(860)1216

9月補正予算の あらまし

補正額 13億9,459万円
 補正後の予算額 7,239億1,570万円
 前年度9月補正後予算と比べて3.3%の減

新規高卒者の求人が落ち込むなど、厳しい雇用情勢が続いている若年者への就職支援や雇用の確保が緊急の課題となっています。また、独自の技術や研究成果をもとに自立を目指す企業への支援、さらには感染症や医療事故などを防止し安全・安心な暮らしを守るための対策なども必要となっています。

9月補正予算で、こうした緊急に対応が必要な事業について予算を計上し、元気な秋田づくりをさらに進めていくことにしています。

高校生の就職活動支援 1,332万円

新規高卒者の県内就職を進めるため、県内の高校などに就職支援員11人を配置し、就職先の掘り起こしを行います。

パソコン教育の充実 757万円



小・中学生のパソコン教育の充実を図るため、使用済みパソコンのデータ削除やクリーニングなどを行い、リサイクルパソコンとして県内の小・中学校に無償で配布します。

大学発ベンチャーへの支援 1億5,000万円

病気に対する新たな治療方法の開発など、県内の大学などで行っている生命科学分野の研究成果を生かした起業を支援します。

企業への支援 5億424万円

企業立地を進め、県内経済の活性化を図るため、企業が行う設備投資や県工業団地の購入に要する費用に対し、助成します。

設備投資への助成 投資額の10～20%
 工業団地購入費への助成 取得価格の30%

サーズ SARS(重症急性呼吸器症候群)対策 909万円

SARSの発生を予防し、まん延を防ぐための啓発活動を行います。また、SARS患者の受け入れに必要な設備の整備などを行う医療機関に対し、助成します。

医療安全支援センターの設置 61万円

医療事故を未然に防止し、医療の安全と信頼を確保するため、相談窓口を備えた「医療安全支援センター」を県医務薬事課内に設置します。(設置予定時期 平成16年1月)

お問い合わせ

県財政課 TEL 018(860)1101 ホームページアドレス <http://www.pref.akita.jp/zaisei/>



情報公開課にお寄せいただいた「おたより」の中から、心なご一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などを紹介します。

海外交流を深めることは、これからの時代に欠かせないものだと思います。今後も海外との交流を続けてほしいです。
 (19歳・男性・秋田市)

8月に長女を出産しました。県として子育てや少子化に対し、どのような対策を取っているのか、また、取るつもりなのか、情報をどんどん提供してほしい。
 (29歳・女性・秋田市)

メルマガ「あ!きた。」の発行によって、県外の人にも秋田をPRし、秋田の良さを知ってもらいたいです。
 (35歳・女性・秋田市)

私のおすすめ「秋田の風景」。秋田の自然豊かな写真や感想をみて、癒されました。
 (26歳・女性・本荘市)

学校給食で地産地消が実施されていることに大賛成! どんどん取り入れて、子どもたちに秋田の良さを分かってほしいと思います。
 (28歳・男性・秋田市)

次代を担う子どもたちが地球環境を考え、活動していることを知り、頼もしく思えました。どんどん大きい輪に広がることを祈っています。
 (53歳・女性・秋田市)

「春夏秋冬こぼれ話」。後藤さんのお話は、心温まるものがありますね。今の忙しく、せわしない時代には無い、豊かさがありません。
 (41歳・女性・十文字町)

秋田の シリーズ Part.8

食

お米はみんなの元気の素

みんなで秋田の「食」を守り、育てよう!!

県内各地では稲刈りも終わり、今年も新米が店頭に並ぶ季節がやってきました。今回は、お米のちょっとした話をご紹介します。

ごはんを食べると太るの？

「ごはんを食べると太る」と勘違いしている人はいませんか。

お米に含まれる糖質は、優先的にエネルギーとして消費されるので、食べすぎなければ太る原因にはなりません。炊きあげたごはんは、パンや麺などの主食の中でもエネルギーが低く、腹持ちもよいので、逆にダイエットに効果があると言われています。

また、ごはんは淡白な味なので、和・洋・中のどんなおかずとも組み合わせることができます。

そのため、魚・肉・卵・大豆などの主菜や野菜などと一緒にバランスよく食事を取ることができます。

1日のスタートはごはんの朝食から

食欲がなかったり、時間がないため、朝食を食べないという方はいらっしゃいませんか。

朝食は、お腹を満たすだけでなく、体にとって大事な役割を果たしています。



朝食を食べることで、寝ている間に下がった体温や血糖値が上がり、休んでいた脳が活発に活動しはじめ、仕事や勉強の効率があがるようになります。

特に、ごはんは、パンなどに比べ血糖値を長時間安定させる作用があるため、朝食は、ごはんを中心とするメニューが理想です。



ごはん便秘や大腸がんを予防

ごはんは、「レジスタンス・スターチ」という、消化を助けるでんぷんを多く含んでおり、食物繊維と同じように、お通じを良くし、大腸がんを防ぐ働きがあります。

また、塩分やコレステロールを含んでいないので、高血圧や高脂血症、心臓病の予防に効果があるとされています。

ごはんの栄養素や役割についてお分かりいただけましたか。ごはんを食べ、これからの寒い季節を、元気いっぱい乗り切りましょう。



お問い合わせ 県流通経済課 TEL018(860)1764 ホームページ <http://www.e-komachi.jp/>

許さない。DV

夫や恋人からの暴力にあきらめないでください。

「DV」って何ですか？

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、一般的に夫や恋人など親しい関係にある男性から女性に向けられる暴力のことをいいます。

DVには、身体への暴力に限らず、精神的(例:「誰のおかげで食えるんだ」と見下す)、経済的(例:生活費を渡さない)、性的(例:避妊に協力しない)、社会的(例:妻や恋人の人間関係を制限するなど、あらゆる形の暴力が含まれます)。

このような暴力は重大な人権侵害であり、許されるものではありません。

DVは、あなたのすぐそばで起こっています

平成14年8月に行った県の調査によると、「親密な関係にある男性から、命の危険を感じるくらいの暴行を受けた」との回答が、約5%にのぼりました。

この割合は全国調査の割合を上回っており、あなたの周りの多くの女性が、DVによって命の危険を感じていることとなります。

DVに悩んでいたら、まずは相談を

「私がいけないから」「夫は私がいなければダメだから」「暴力のことなんて人に言えない」「逃げるなんてとても無理」などと、DVに対してあきらめていませんか？

相談するということは、勇気がいることです。しかし、自分や子どもたちの安全や将来のために一歩を踏みだしてください。

県は、専門の相談窓口を設けています。ひとりで悩まず、まずは相談してください。

女性ダイヤル相談(県女性相談所)

【電話】

なやみ・にぶんのいち

0120(783)251(フリーダイヤル:県内限定)
または 018(835)9052
フリーダイヤルは携帯電話からも通話できます。

【受付時間】

月～金曜日:午前8時30分～午後9時
土日祝日:午前9時～午後6時

このほか県内9カ所の配偶者暴力相談支援センター(各地域振興局福祉環境部、中央男女共同参画センター)でも相談をお受けしています。

DV防止啓発街頭キャンペーン

「女性に対する暴力をなくす運動」(11月12日～25日)の期間にあわせて、DV防止啓発街頭キャンペーンを行います。(詳しくは、「情報のひろば」(P6)をご覧ください。)

お問い合わせ 県男女共同参画課 TEL018(860)1555 ホームページ <http://www.pref.akita.jp/josei/danjo.htm>

情報の ひろば

催し

第3回「心いきき芸術・文化祭」

障害を持つ皆さんが日ごろの芸術・文化活動の成果を発表する「心いきき芸術・文化祭」が開かれます。

日程 12月4日(木)~6日(土)

会場 アトリオン(秋田市) 入場無料

内容 作品展示、全盲の電子オルガン奏者・大島彰さんのコンサート、女優・石井めぐみさんによる講演など

☎県障害福祉課

TEL018(860)1335

県青少年音楽コンクール

(声楽・弦楽器・管打楽器部門)

県内在住および県出身の若い演奏家らによる音楽コンクールが開かれます。

多くのみなさんのご来場をお待ちしています。入場無料です。

日時 11月24日(祝)10:00開演

会場 アトリオン音楽ホール、県民会館

☎県芸術文化協会

TEL018(835)3193

「韓国物産展」

秋田・ソウル国際定期便就航2周年を記念して、キムチなどの食品や、工芸品、家具など韓国のさまざまな商品を紹介する韓国物産展が開かれます。

期間中は、韓国古典舞踊の披露や観光PR、韓国旅行商品の紹介のほか、韓国屋台村で本場の味を楽しむことも出来ます。

日程 12月5日(金)~15日(月)

会場 秋田まるごと市場(秋田市)

☎県秋田・韓国交流促進チーム

TEL018(860)1289

「アクティブパパ&ママ」フォーラム

石川県金沢市の演劇集団「棒読み座」による子育てワークショップや、弘前大学・豊嶋秋彦教授による講演などが行われます。入場無料です。

日時 12月7日(日)13:00~16:30

会場 県生涯学習センター

☎県生涯学習センター

TEL018(865)1171

県立スケート場 「クリスマスフェスティバル」

家族や友達同士で、スケート場のクリスマスを楽しんでみませんか?

楽しいイベントをたくさん用意してお待ちしています。

日時 12月14日(日)9:30~17:00

滑走料 無料(貸靴は有料)

☎県立体育館管理事務所

TEL018(862)3782

お知らせ

消費税が変わります

平成15年度税制改正で消費税の一部が改正され、平成16年4月から順次、新制度が適用されます。

主な改正点は次の2点です。

事業者免税点の引き下げ
納税義務が免除される基準期間における課税売上高の上限が1千万円(現行3千万円)に引き下げられます。

総額表示の義務づけ

課税事業者が商品等の価格をあらかじめ表示する場合、消費税額(地方消費税含む)を含めた支払い総額での表示が義務づけられます。

☎最寄りの税務署

身体障害者補助犬法が全面施行されました

身体障害者補助犬法の全面施行により、10月1日から、デパート、ホテル、飲食店など不特定多数の方が利用する施設では、特別な理由が無い限り補助犬(盲導犬・聴導犬・介助犬)の同伴を拒むことができなくなりました。

補助犬は身体障害者にとって欠かせない存在です。補助犬を必要としている人がもっと社会で活躍出来るよう、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

☎県障害福祉課 TEL018(860)1331

「春秋叙勲」候補者の一般推薦を受け付中

内閣府は、叙勲候補者の一般推薦を受け付けています。詳しくは内閣府のホームページ(<http://www8.cao.go.jp/intro/kunsho/pansuisen.html>)をご覧ください。

☎内閣府賞勲局総務課 TEL03(5253)2111

または県秘書課 TEL018(860)1032

「賃金不払残業」解消・特別日曜相談日

「賃金不払残業(サービス残業)」は労働基準法違反です。11月は「賃金不払残業

解消キャンペーン月間」ですが、秋田労働局はこれに合わせて「特別日曜相談日」を開設し、労働者及び企業からの電話相談を受け付けます。

日時 11月16日(日)10:00~17:00

相談電話 018(862)6682

☎秋田労働局監督課

DV防止啓発街頭キャンペーン

夫や恋人などの親しい男性から女性に向けられる暴力「DV(ドメスティック・バイオレンス)」について、理解と関心を深めてもらおうと、「DV防止啓発街頭キャンペーン」を行います。キャンペーンスタッフも募集しています。

場所/日程 大館市/11月12日(水)

秋田市/11月14日(金)

横手市/11月19日(水)

キャンペーン会場は商店街、駅前など。

☎県男女共同参画課

TEL018(860)1555

フロン回収にご協力をお願いします

フロンを使っているカーエアコン、業務用空調機器・冷凍機器を廃棄するときは、県知事の登録を受けている業者に処理を依頼してください。また、エアコンのついた自動車を廃棄するときは「自動車フロン券(2,580円)」と一緒に登録引取業者に引き渡してください。

オゾン層の破壊や地球温暖化を防ぐため、ご協力をお願いします。

☎県環境政策課

TEL018(860)1604

「住宅需要実態調査」にご協力をお願いします

住宅需要実態調査は、住宅政策の基礎資料を作るため、昭和48年から5年おきに行われている調査です。

今月24日から、統計調査員証を持った調査員が、調査対象のお宅を訪問して調査票をお配りしますので、ご協力をお願いします。

☎県建築住宅課 TEL018(860)2562

募集

スポーツ医科学研修講座

「瞬発力を高める~理論と実践」をテーマに、スポーツ指導者を対象とする講義と演習を行います。受講無料です。

対象 スポーツ指導者(定員50人)

日時 12月6日(土)10:00~16:00

会場 スポーツ会館

☎スポーツ会館管理事務所

TEL018(864)7911

テレビ

こちらお茶の間情報局

- ABS 毎週日曜日11:00~11:15
 11月2日 あなたも経営者になってみませんか
 9日 楽しく遊ぼう科学のココロ
 16日 いつまでも生き生き 生涯学習
 23日 DVの防止のために
 30日 北東北みらい債を発行します
 ~新水族館を応援しよう~

秋田花まるっ

- AKT 毎週月曜日21:54~22:00
 11月3日 秋野菜でキムチづくりに挑戦
 10日 明日から税を知る週間です
 17日 どんなことしてるの?
 木材高度加工研究所
 24日 花まるっモニターツアーで秋田再発見!

あきた東西南北

- AAB 毎週土曜日9:30~9:45
 11月1日 やきそばのまち・横手
 8日 北東北の美味しい秋発見
 15日 伝統の技・本荘のごてんまり
 22日 不思議いっぱい! 遺跡の魅力
 29日 われら「海外技術研修員」

ラジオ

県庁だより

- ABS 月~金11:45~11:50
 モーニングスマイル
 エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55



広報の窓

あんな声こんな声



自我が芽生え、性格形成において一番大事な時期である幼児期の食育をより確かなものにしていく必要があると思います。構造改革特区に提案するプロジェクトとして考えてみてはどうでしょうか。(「知事への手紙」より)



発育・発達の重要な時期にある子どもの食に関しては、さまざまな問題が指摘されています。県が平成13年に実施した調査でも、幼児期での栄養の偏り、野菜の摂取不足、不規則なおやつ習慣などの問題が明らかになりました。また、幼児のいる親の年代である20~30代にも、朝食抜き、カルシウムや鉄分不足などの栄養の偏りの実態がみられました。

子どもたちの心身の健全な発達に、日々の“食生活”が与える影響は非常に大きなものがあります。幼児期から正しい食習慣を身につけるよう、家族ぐるみ、地域ぐるみでの息の長い取り組みを進めることが必要と考えています。

このため、県では、食育活動推進庁内連絡会を設け、地域のボランティア団体と連携しながら、「母と子の料理教室」や「レッツ! チャレンジ健やか料理教室」などを行っています。また、健全な食生活の普及と食育活動を展開する食育ボランティアの登録、派遣を行うなど、地域に根ざした食教育の推進に取り組んでいます。

今後さらに、関係機関の連携を強化しながら食育活動を推進していくこととしています。

なお、構造改革特区については、特定の地域を規制緩和を通じて経済活性化を図ることが目的であり、特別の規制のない食育という分野に関しては、なじまないものですので、ご理解をいただきたいと思ひます。

お問い合わせ
 県健康対策課 TEL018(860)1422

春夏秋冬
 こぼれ話

シリーズ56

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

山間部の田んぼで活躍する
 昔ながらの栗の木の稲架

稲架の横に立つ
 山田健悦さん(67)



山田さんの前に下がっている黄色い円盤はパソコンソフトのCD。鳥追い用に点々と下げられているが、キラキラして効果は抜群だとか。それにしても、昔ながらの稲架との組み合わせがおもしろい。



ちょっと山さ入れば栗の木なの
 いっぺあったもんだ。もうこの家も
 新しい稲架なのたてぬえな...

大型コンバインによる稲刈りと、温風による人工乾燥が主流の時代。昔ながらの稲架を使うた天日乾燥はめっきり少なくなりました。
 上小阿仁村八木沢地区は、秋形ダムに近い山あいの小さな集落。ある程度、耕地整理も行われたというが、田んぼの大きさはさまざま、昔ながらの稲架がけをしている農家が多い。
 「この稲架は栗の木でこしえた(作った)もんで、立ててからもう三十年近い。栗の木は丈夫で腐りにくいもんだがらなあ。こう説明してくれたのは小さな店を営みながら約四十アールの水田を耕作している山田健悦さん(六七)。

稲架の高さは約3mで六つの穴が開けられている。稲刈りが終わると両側から長木で支え、穴に稲架子(横)に通す長木を渡して稲の束を架ける。県内の他の地域で見られる稲架のほとんどは、杉の間伐材や竹を使って毎年新たに組み立てるものだが、ここではメインの柱は立てばなし。かつて雪の多い年は稲架の上近くまで雪が積もり、この木に足をのせてカンシキのひもを結んだものだという。
 「ここは平地が少なからず、昔はほとんど畑田、それを整理して大きくしても限度がある。今でも大きい機械は入りにくいから、こうして昔の稲架を使ってるんだと山田さんは言う。稲は天気の良い日が続く約二週間乾燥。その後は稲架から下ろして脱穀など、手間のかかる作業が続く。
 「この地区は厳しい自然条件に加え、過疎化と高齢化も進行中。あちこちに耕作を放棄した水田跡が見られ、畦道には風雪に耐えてきた稲架が黄金色の稲をまとうこともなく、さみしそうに立ち並んでいる。
 「こなた山の中だもの。今年は冷夏の影響で平年の六〜七割の収穫だな。でも、こうして天日で乾かせばうめ米だなる。」って誓めてくれる人がいるもんだが、もう少し頑張るべ。」
 山田さんのこの一言に、ほっとした気持ちになった。

11月9日(日)は、
衆議院議員総選挙の
投票日です。

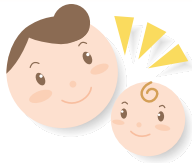


行こうよ選挙。
明日の日本が
今決まる。

明るい選挙推進協議会
マスコットキャラクター 「めいすいくん」

あなたの一票が、新しい未来を築く大切な鍵になります。必ず、投票しましょう。当日投票できない方は、不在者投票を済ませましょう。(なお、この日は、最高裁判所裁判官の国民審査も行われます。)

お問い合わせ 県選挙管理委員会/秋田県明るい選挙推進協議会 TEL018(860)145



子育て応援情報 その7

働くお父さんお母さんの 強い味方「育児休業」

「育児休業」は、働いている方が、子どもを育てるため、お子さんが1歳になるまでの間に仕事を休むことができる制度です。(この期間であれば日数に制限はありません)

育児休業を取る場合は、原則として、休もうとする日の1カ月前までに、事業主へ書面で申し出ることが必要です。

産後8週間までは、お母さんが専業主婦や産休中の場合でも、お父さんは育児休業を取ることができます。

また、育児休業を理由とする解雇など不利益な取扱いが禁止されているほか、休業中は、雇用保険による給付金の支給や社会保険料の免除なども受けられますので、安心して休むことができます。

詳しくは、秋田労働局雇用均等室 TEL018-862-6684 または 県労働政策課 TEL018-860-2302 までお問い合わせください。

クイズ

正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード(千円分)をお贈りします。

問題 今年の北海道・北東北知事サミットの会場となったのはどこでしょう。(P2参照)

- (1) 秋田市
- (2) 札幌市
- (3) 盛岡市

応募方法 答え、郵便番号、住所、氏名(読みがな)年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570 県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締め切りは11月25日(消印有効)ハガキ、ファクス018-860-1072) Eメール(sinjidai@pref.akita.jp)でどうぞ。

9月号の正解は「生活習慣病」でした。応募441通、うち正解429通の中から抽選で次の方が当選されました。白根勝雄さん(大館市) 熊谷哲也さん(能代市) 谷村ハルエさん(八郎潟町) 辻陽子さん、板垣百合子さん、伊藤美幸さん(以上、秋田市) 長谷川和子さん、宇佐美由美さん(以上、大曲市) 棚橋典子さん(大森町) 高橋紀子さん(湯沢市)

游学

さんぽみち

県立近代美術館

横手市赤坂 TEL0182(33)8855

企画展「色彩の記憶」

色彩と心の関わりをテーマに、絵画や彫刻を紹介いたします。



勝平得之「米作四題 刈りあげ秋」(1951年)

日時 11月29日(土)~2月8日(日)

午前9時30分~午後5時

*休館日12月8日~19日、12月29日~31日

観覧料 一般400円、学生300円、小・中学生200円

大湯ストーンサークル館

鹿角市十和田 TEL0186(37)3822

縄文の息吹を感じてみませんか?

縄文時代後期の遺跡といわれるストーンサークル(特別史跡大湯環状列石)

を紹介する施設です。土器やペンダント作りを体験出来る「縄文工房」もあります。(材料費有料)



体験工房で土器作り

開館時間 午前9時~午後4時(月曜休館)

観覧料 大人300円、子ども100円

*開館時間と休館日は11月~3月までのもの。

ブルームッセあきた

南秋田郡昭和町 TEL018(855)5041

「シクラメンフェア」

昭和町産のさまざまな品種のシクラメンを数多く展示・即売する人気のフェアです。



色鮮やかなシクラメンがいっぱい!!

日時 11月20日(木)~24日(祝)

午前9時~午後6時

会場 アグリプラザ昭和(道の駅しょうわ)

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国あきたネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。

編集部から

これから地域として自立していくためには、それぞれの文化や歴史、住民のバイタリティなど、私たちの住む地域の潜在力や可能性を見つめなおし、それを広げていくことが大切ではないでしょうか。今回の知事サミットやフォーラムを通じてそんなことを感じたところです。

表紙の取材で山内村に「いものこ掘り」の取材に行ってきた。一茎に約20個ほどついている「いものこ」は、「種いも」、「子いも」、「孫いも」に分けられるとのこと。柔らかい「孫いも」は「いものこ汁」に、ちよっと大きめの「子いも」はおでんなどの煮物に適しているそうです。皆さんも、早速ためてみてはいかがでしょうか。



県人口 1,167,710人 (-183)
男 552,708人 (-117)
女 615,002人 (-66)
世帯数 396,324世帯(+141)

(平成15年9月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています